



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年3月15日 No.655

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

このコーナーの
「東京史」は
お読みください



オリンピック
よりも

くらし・営業支援を

招致運動に1000万円も使うの!?



「オリンピック招致のぼり」が区役所内に林立。世間とかけ離れた光景だ。

新年度予算にはオリンピック招致運動の予算として1000万円が組まれています。昨年もオリンピック招致のための「講演と映画」などを開催しました。しかし、不況でたいへんな時に自治体がオリンピック招致に熱中しているのはおかしい！

オリンピック招致の予算1千万円は東京都が各区市町村にばら撒いたもの。東京都はオリンピック基金を4千億円も貯める一方で、招致運動予算を150億円へ当初の3倍に増加させました。品川区も、昨年970万円の予算をつかってオリンピック選手を招いて「講演と映画」や野球教室など開催。庁舎内にも大量の「のぼり」を掲げるなど運動を推進してきました。

新年度の招致予算1000万円について、品川区はこれから使い道を考えてのべていますが、いま、不況と派遣切りなど「100年に一度」の深刻な事態に区民の気持ち「オリンピックやってる場合じゃない、景気対策・くらし支援を」です。

コンパクト
に偽りあり

オリンピックロ実 にインフラ整備など9兆円も

東京都とオリンピック招致委員会が発表した立候補ファイアイルは、「オリンピック史上最もコンパクトな大会」などと自賛しています。しかし、実際の経費は申請より増大しているなど「看板に偽り有り」です。

競技施設では、築地市場へのメデアセンタ―建設を断念したものの、立候補ファイイルで新設とされている施設以外に「夢の島ユースプラザ」の全面建て替え、「辰巳国際水泳場」の新設などの新規建設が立候補ファイイルには記載されていません。これらを加えれば、経費は競技施設で121億円、アクセス道路などのインフラ整備で2014億円も増大します。

また、石原知事はオリンピックをテコに大型開発をすすめています。立候補ファイイルに、外郭環状道路をはじめとしたイン

フラ整備などくわえれば投資は9兆円規模になり、到底、コンパクトな大会ということとはできません。

招致委員会は、立候補ファイ

招致委員会は、世論調査では都民の69%がオリンピックを希望しているといいますが、調査はオリンピック招致活動推進のオフィシャルパートナーであるyahoo(ヤフー)が請け負い、インターネットで実施したもの。しかも、yahooの登録モニターによる有償調査であり、信頼性はおおいに疑問です。



ルとあわせて、政府の財政保証の文書を提出したとされていますが、財政保証は閣議決定がありません。招致の国会決議もされていない段階で、財政保証を提出することにはたいへん疑問です。

石原都政は、福祉・くらしを切り捨てた

石原知事はオリンピックや新銀行に熱中し莫大な税金をつぎ込んできました。その一方で、

福祉は寝たきり高齢者への月5万5千円の福祉手当や老人医療費助成(マル福)、特養老人ホームへの人件費補助など次々に廃止さらに、「都立病院改革」の名で12の都立病院

お困りのときは お気軽にご相談ください

- くらし・区政の相談はいつでも受け付けます。
- 無料法律相談は3月27日(金) 弁護士が対応します Pm6:30~です。



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所
品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

を半分にはらす計画をつくり、母子保健院廃止など診療を縮小や休止、病棟の閉鎖もあいついでいます。中小企業対策費も98年の3800億円から06年には2003億円へと半分近くまで減らしました。
昨年の都が実施した調査では、都民の都政にたいする「不満」が58%、「満足」の42%を大きく上まわっています。